

T

H

A

N

50th

FOR THE GAIA

K

FOR THE PEOPLE

S

FOR THE FUTURE



We would like to thank everyone who has supported us as we celebrate our 50th anniversary.

FOUNDED
1973

2033
60th VISION



制作 株式会社GF ブランド戦略PJ
発行所 新日本印刷
発行日 2024年7月20日

創業50周年を迎えるにあたり、これまで支えてくださったみなさまに心より感謝申し上げます。
この印刷物は環境にやさしい「FSC 認証材及び管理原料」と、有害な物質がほとんど出ない「植物油インキ」を使用しています。また廃液の出ない「水なし印刷」で印刷しています。



MESSAGE

GFは徳島阿南の地で創業し、50年に渡り多くの皆様のご支援とご協力のもと、今日を迎えることができました。長年のご厚情を賜りました皆様に、心より感謝申し上げます。

2019年9月に藤崎電機とガイアパワーを合併し、GFが誕生いたしました。

藤崎電機は、ファウンダーである藤崎稔が自らの可能性を試したいと脱サラし、プレハブ小屋に机を一つ置きスタートさせました。水関連設備や発電プラントの電気計装工事、工場の自動化設備、その他オリジナル装置の開発、製造を我々の技術力を通して解決し、地域に貢献してまいりました。

GFの前身であるガイアパワーは、深刻化する地球環境をどうにかしたいという思いから、自然エネルギー発電所の開発から建設、運営保守まで地域の皆様のご協力を得て展開してまいりました。現在でも弊社の主軸事業として、東京、福島、鹿児島、愛媛を中心に全国各地で規模を拡大しております。

私たちはこれまでの経験を踏まえ、60周年である2033年ビジョンとして、「Great Local Company」になることを掲げています。そのビジョンの実現に向けた構想の一つとして、SDH (Sustainable Development & Happiness) を徳島で、そして全国で進めていきます。自然エネルギー発電で作った電気をその地域で消費し、今まで地域外に流出していたお金を地域内で循環させることによって雇用を生み出し、地域を活性化させる。持続可能な開発で地域社会を幸せにすることが今後GFの目指していく未来です。

これからも「Great Local Company」として持続可能社会の実現を目指し、次世代を生きる人々のために、素晴らしい自然、風土を守り受け継ぐことができるよう邁進してまいります。

今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
藤崎 耕治

1983年 岐阜大学工学部 土木工学科 卒業 株式会社大林組 入社
1983年 マサチューセッツ工科大学院 建設経営コース 入学
1997年 株式会社大林組 退社 藤崎電機株式会社 入社
2011年 株式会社ガイアパワー 設立 代表取締役 就任
2014年 藤崎電機株式会社 代表取締役 就任
2019年 ガイアパワーと藤崎電機を合併 株式会社GF設立
代表取締役に就任 現在に至る

COMPANY PROFILE

会社名	株式会社GF	創業	1973年 2月15日
所在地	徳島県阿南市黒津地町山下5番地1	設立	2011年 10月5日
資本金	8,400万円	社員数	148名 (2024年7月1日現在)
代表者	藤崎 耕治	事業所	東京支店 福島支店 鹿児島支店 宇和島事務所

GF HISTORY

1973 - 2026 1973年の創業から現在、そして未来へ。

小さなプレハブ小屋から始まり『ものづくり』への道歩んだ50年、発電所水インフラの設備工事、自然エネルギー発電事業など、時代の流れと共に挑戦し続けてきたGF。皆様のおかげでここまで成長することができました。これからも Great Local Company を目指し貢献してまいります。

1973 藤崎 稔が創業

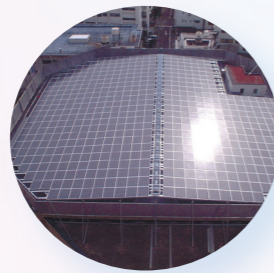
「熱い思い」と「高い志」を胸に退職金 25 万円と失業保険 25 万円を手にして脱サラ。歯を食いしばり続けた日々、創業当初の収入は前職の三分の一にも至りませんでした。



創業当時のロゴ

1998 太陽光発電事業を開始

『人と地球に優しい技術で社会に貢献する』という新たなコンセプトのもと太陽光発電事業を開始しました。



(徳島市分庁舎 100 kW)

2006 富岡雨水ポンプ場電気工事

ガスタービン式駆動ポンプや超大型インバータ式ポンプなど最新機器が設置された県内でもトップクラスの雨水ポンプ場です。藤崎電機は建築電気工事・電気設備工事に大きく貢献しました。



2012 美馬ソーラーバレイ運転

私募債を活用した市民参加型の発電所です。ガイアパワーと地元が一丸となり、土地の開発から資金調達運営まで地域の企業や市民の皆様が多く出資・参加しました。



ガイアパワーのロゴ

2019 株式会社 GF 誕生

藤崎電機の技術とガイアパワーの開発力が合併し、開発・施工 O&M までを一貫しておこないビジョンを実現する組織へと進化しました。



GF のロゴ

2026 槇川正木風力発電所完成

愛媛県宇和島市と愛南町にまたがる尾根上に建設中 2026 年運転開始予定です。



(イメージ画像)

2033 60th ビジョン達成



GREAT LOCAL COMPANY



藤崎電機のロゴ



1992 栗重量選別機完成

(天皇陛下ご高覧) 1秒間に 1.5 個の栗を高精度かつ高速で処理し 8 つのランクに選別。この機械を使って処理された栗の缶詰を皆さんも一度は口にしたことがあるかもしれません。



1995 藤友会設立

協力会社との関係強化と安全衛生意識の向上を図るために藤友会を設立しました。



1999 DVD製造ライン自動化

DVD の製造、蛍光体焼成工程、医薬品検査等の自動化で藤崎電機の技術が活躍しました。



1999 噴霧乾燥装置(MMSD)

平均粒子 10 μ m 以下に特化したスプレードライヤーです。GF の粉体技術は世界中のさまざまな分野で活躍しています。



2011 株式会社ガイアパワー設立

『自然エネルギー発電を通じて人類に貢献する企業になりたい』という藤崎耕治社長の環境や地域活性化に対する熱意からガイアパワーを設立。



2020 鹿屋大崎ソーラーヒルズ運転開始

鹿屋市と大崎町にまたがる九州最大級の発電所。造成を最小限に抑え抜根をせず、自然地形を活かした環境負荷の少ない施工を実現しました。



2024 新社屋完成

予想される災害から社員や地域の皆さまを守るため本社を移転、多様な働き方が実現可能なオフィスとなっています。

60th VISION 2033

GREAT LOCAL COMPANY



HAPPINESS IN PHYSICALLY KPI

(物質的幸福指標)



持続可能な会社づくり
純利益 30 億円
純資産 200 億円
自己資本比率 50%



維持管理・運営 50 億円 / 年
配当 10 億円 / 年



SDH+ スマート化
50 億円 / 年



EPC 300MW
300 億円

※EPC (設計、調達、建設・試運転)



EPC 500MW
1000 億円

人間成長
働き甲斐
所得向上
評価制度
採用・人財育成

ACHIEVEMENTS OF HAPPINESS

(仕事を通して物心両面の幸せ実現)

自然エネルギー発電地産地消
総生産増加・地域の雇用創出
所得・暮らしの豊かさ向上
出生率・関係人口・流入人口の増加
活力が溢れ、Gross Happinessが向上

REGIONAL CONTRIBUTION

(地域に愛される会社)

IMPROVING PRODUCTIVITY

(人間らしい仕事に集中)

1人当たり時間付加価値
D.X 推進

フィロソフィー
クリエイティブな働き方
挑戦・創造を評価

CHALLENGE & CREATION

(挑戦・創造する社風)

HAPPINESS IN SPIRITUALLY KPI

(精神的幸福指標)



エンゲージメント
70% OVER



一人当たり付加価値
2500 万円 / 人
平均年収 1000 万円



学ぶ組織への変革
藤崎ユニバーシティ



社員数 250 人
年間休日 140 日
年間労働 1800 時間

SDH
VPP
マイクログリッド
スマートシティ

SMART SOCIETY

(スマート社会)

INNOVATION

(先進技術への挑戦)

需給バランス
送電システムシミュレーション
洋上風力浮体式
水インフラ
モビリティ

FINANCE

(ファイナンス)

SPC流動化
財務基盤強化
キャッシュフローマネジメント
プロジェクトファイナンスの多様化

BCP/BCM
Fホールディングス経営
後継者育成・サポート

SUSTAINABLE MANAGEMENT

(持続可能な経営で夢を実現)

CARBON-NEUTRAL

(自然エネルギー発電の推進)

オフサイト PPA
ハイブリッド発電
グリッドバッテリー
洋上風力発電

GF 50th Anniversary

リーダーたちからの感謝の言葉

太陽光発電事業の立上げ当時は月に1件の住宅用太陽光が受注できるかどうか…。そんな時代から住宅用⇒産業用⇒FIT⇒PPAとステップアップし、実績を積み上げてきました。これからも新たな展開へのチャレンジ精神を忘れず太陽光発電事業に取り組みたいと思います。

SHIMADA TSUYOSHI



YOICHI OMAE

世界一のオリジナル商品を作りたいとファウンダーはよく語っていました。入社タイミングで粟重量選別機とさつまいもの毛焼き機を担当。どちらも地域限定のような商品でした。その後MMSDを開発、ベルギー、スイス、韓国、などに輸出されることになり、世界に打ってでられる商品が完成しました。当時の思いが現実のものとなり感慨深い気持ちです。



GFは創業から様々な取り組みをしてきたことで今があると思います。私自身も何でもチャレンジできる環境のおかげで、多くの経験を積むことができ、成長させてもらっていると感じています。今後、ビジョンの実現に向けて、チャレンジできる環境に感謝し、GFの発展に貢献したいと考えています。

MASAYA KONDO



鹿屋大崎ソーラーヒルズ建設時、架台杭71,423本目の打設、モジュール356,928枚目を設置した瞬間の達成感は、今でも鮮やかによみがえってきます。

現場スタッフ、設計部、協力会社が一丸となり「ベクトルをそろえる」事で、100MWを17ヶ月で完了させるという困難に打ち勝つことができました。関係各位への感謝の心を忘れず業務に邁進いたします。

TOSHIKAZU YAMAGUCHI



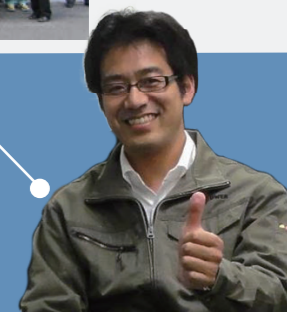
HIROMI KONDO

社内のすべての部署を経験し、多くの方々と一緒に仕事をすることができ、部門間の壁を越え、コミュニケーションを取りやすい人間関係を構築できました。また、今年の3月までMBA(経営学修士号)に通わせていただき、業界を問わず多くの仲間に出会いました。この人的ネットワークも大切に、今後の業務に活かしたいと思います。

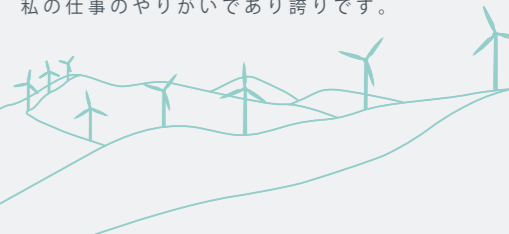


HARUTAKE SUEHISA

風力発電事業は地球の営み、即ち、生命体としての地球(ガイア)の法則に従い、地域の資源に価値を与える仕事だとも言えます。



このガイアと事業を受け入れていただく地域社会の両者に対する感謝の念と報恩の想いこそ、私の仕事のやりがいであり誇りです。



GF NEW OFFICE BUILDING



1 2 カフェ Bon Voyage では心と体を満たす健康的な食事を提供
3 4 工場棟は木造建築にすることでCO₂排出量を大幅に削減した

新社は多様な働き方ができるよう、フリーアドレスやペーパーレスを導入し、エリアごとに工夫を凝らすことで、社員の健康促進や、ウェルビーイング（幸福感）を感じることが出来る建物となりました。また、多様性を尊重しマイノリティに寄り添ったユニバーサルデザインを採用するとともに、GFの環境融和の精神に基づき、日常的に自然を感じることが出来る素晴らしい社屋となっています。今後想定される災害時には、社員や地域の皆様の生命を守る防災拠点として機能し、GFは今後も地域との共生を促進してまいります。

株式会社GF本社

敷地面積：17097.55㎡
 延べ床面積（本社棟）：2,348.88㎡
 延べ床面積（工場棟）：947.756㎡
 所在地：徳島県阿南市黒津地町山下5-1
 設計・施工（本社棟）：株式会社大林組
 設計・施工（工場棟）：西野建設株式会社
 監修：藤崎まり菜
 設計アドバイス：新居建築研究所



Marina Fujisaki

Branding Group

本誌は、社員がデザインスキルを一から身につけて作成した、世界に一つだけのオリジナル記念誌です。各ページは担当者が工夫を凝らしてデザインしており、チャレンジ、創造、変革を続けるGFを象徴する一冊となりました。表紙は、クラッカーがパーンと鳴る瞬間をイメージしてデザインしました。

表紙・裏表紙・9



Hiroko Akita

Group Support

代表ページを担当することになり、写真撮影のロケーションをまずどこにするか悩みました。複数案の中から、社屋がとても綺麗に撮れる位置から代表を撮影しました。撮影当日は、お天気にも恵まれ良い写真を撮ることができました。ページレイアウトは、シンプルで読みやすい構成を心掛けました。

1・2

Mai Matsuzaki

Group Support

代表ページを担当しました。会社概要と代表メッセージは元々別のページでの作成を予定しておりましたが、同じページにし、更に読みやすさを重視したシンプルなデザインを心がけました。写真のバランスや全体の構図を損なわないように、統一感のあるデザインに仕上げました。

1・2



Tomomi Ishiro

Branding Group

会社の沿革ページを担当しました。会社の歴史を振り返り、その過程と成果を一目で分かる形にするのはとても悩みました。時代の流れを曲線でデザインすることでわかりやすく表現出来ました。また、これからの未来へ新たな一歩を踏み出す、そんな思いを込めて作成しました。

3・4



Zozo Ueyanoto

Corporate Planning Office

60th VISIONとして掲げた「GREAT LOCAL COMPANY」を頂上とし、登頂達成への一歩を踏み出したGF。広範囲な眺望で事業を推進し、自ら高い目標を掲げ、チャレンジしていく。多様性・グローバルな視野・創造力を刺激する、我々のチャレンジングな取り組みを表現しました。

5・6



Toshiki Nakano

Group Support

会社沿革のページを担当しました。過去の出来事を振り返ることで改めて多くの方々のご縁があり、今のGFがあると実感しました。人と人との繋がりの大切さをこれからも大切にしていきたいです。製作チームの強い思い、こだわりを皆様に楽しんでいただければ幸いです！

3・4



Kaito Masaki

Design Group

各メンバーが担当したページの思いやコンセプトの説明文を加えることにより、誌面だけでは伝わりにくい熱意や温かみを感じてもらえるようにしました。さらに、人物のモノクロ写真にそれぞれのイメージカラーを加えることで、個々の個性を尊重し、弊社が推進する多様性を表現しました。

10

Megumi Tanaka

Solar Promote Project

会社は人が作り育てる。GFの50年も人と人が紡いだ歴史だと思えます。私が担当したページではGFという会社が、これまで多くの人と作り上げた共同体という意味を込めました。過去から現在、そして未来へ、これからも挑戦していくGFを表現したいという思いで作成に取り組む事ができました。

7・8

